

令和2年度「ふれあい学習ネットワーク」研修Ⅰのまとめ

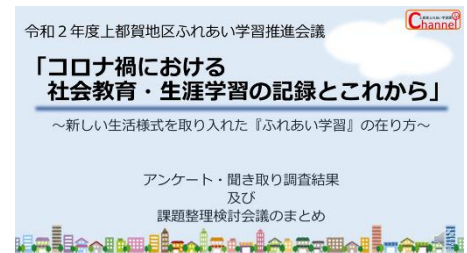
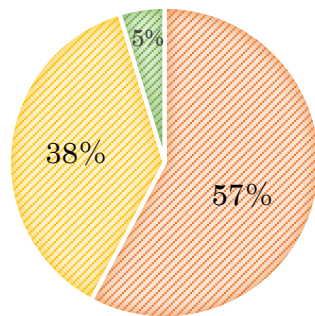
令和3年2月15日（月）～26日（金）実施（総アクセス数 117件 全設問視聴者 71名）

* お忙しい中、研修会に御参加いただきありがとうございます。期間内に実施した研修会での皆様の御意見を掲載いたします。御覧になっていただき、今後の活動にいかしていただければ幸いです。
 上都賀教育事務所ふれあい学習課 担当

1 ふれあい学習推進会議アンケートのまとめについて

「ふれあい学習推進会議アンケートのまとめ」についての評価

- とても参考になった
- 参考になった
- 部分的に参考になった
- 参考にならなかった



| 評価項目 | とても参考になった | 参考になった | 部分的に参考になった | 参考にならなかった |
|------|-----------|--------|------------|-----------|
| 実人数 | 41 | 27 | 3 | 0 |
| 割合 | 58% | 38% | 4% | 0% |

2 あなたの考える「コロナ禍を乗り越えるための『キーワード』」とは

総キーワード数 71

*皆様の御意見をすべて掲載します。少しでも「キーワード」を感じていただくため、また、読みやすくするために事務局が類型化しております。御了承ください。

●自分のこと・心情についてのキーワード

- ・柔軟な心と行動
- ・ソウゾウ力
- ・感動
- ・正しい知識と理解
- ・どんな時も善力（全力）で!!
- ・気づき
- ・柔ら
- ・共感
- ・人権教育
- ・決断力と勇気
- ・変化への柔軟性
- ・感動：心で感じて、体が自然に動くこと
- ・聴く耳をもつ、見る目をもつ、語る口をもつ
- ・どんな状況でも学びと傾聴を忘れない
- ・何とかしようとする気持ちと行動力

●人と人とのつながりについてのキーワード

- ・お互いに楽しむ気持ち
- ・ふれあい
- ・人への思い、より強く
- ・ココロのつながり
- ・こころをつなぐ
- ・「心のふれあい」人間だから出来ること
- ・心の矢印は人
- ・良心に基づいた言動・明るく笑い合える関係
- ・そこにいてくれてありがとう！！
- ・会えなくとも、繋がっているよ！あなたと
- ・人とのつながりの大切さを再確認
- ・三密はさけても心のつながりは大切に！
- ・物理的距離は遠く、心の距離は近く
- ・つながり



- ・距離は離れていても心は密に
- ・持ちつ持たれつ
- ・繋がる
- ・想いを共有し、広げる

●自分以外のこと・心情についてのキーワード（複数）

- ・相手を思う気持ちを大切に
- ・相手を思う気持ち（3）
- ・相手への思いやり
- ・思いやり（3）
- ・思いやりと笑顔！
- ・笑顔で“つながる”
- ・笑顔を絶やさない
- ・笑顔
- ・みんなと笑顔でつながる
- ・みんななかよく
- ・それぞれの想いを知る
- ・もち味生かして、それぞれの一步 そして みんなで一步

●現在から未来に向かってのキーワード

- ・今だからこそ！
- ・今を生きる！
- ・それぞれが出来る事をできる場所で
- ・あきらめない
- ・それでも前に、歩み続ける…
- ・歩みを止めない
- ・変革
- ・予測不能を乗り越えて
- ・折れず、怒らず、逃げず、進むべき方向へ
- ・「できない」と考えるのではなく、「どう工夫したらできるのか」を考える
- ・今しかできない見直し、取捨選択、今しかできないチャレンジ！
- ・進むだけでなく、立ち止まり考える勇氣
- ・それでも繋がろうとする気持ち
- ・ひたすらに ただひたすらに ひたすらに
- ・大丈夫！大丈夫！絶対に大丈夫！！
- ・「思い」はつながる「思い」をつなげる
- ・未来を信じる心 諦めない心
- ・未来への思いは一つ
- ・未来へのつながり

●総合的な思いについてのキーワード

- ・オンラインで輪になり仲間と繋がり、離れていても心に寄り添え合える。そのパワーが困難を前向きに変えられ、予測不能をも乗り越えられる。
- ・懐かしい顔がいっぱい！普通に会える日が待ち遠しい。

3 地域学校協働活動推進者の方のインタビューを見て、考えたこと

○教職員

・コロナウイルスの感染防止を考えながらも、学びの保障やふれあい学習の大切さを考えながら工夫して取り組む姿に元気を頂きました。様々な人が児童生徒、保護者、高齢者のために考えているのが非常にうれしいです。常に声を出していくことの大切さ同感です。行政の立場だけでなく、ご自身が実際に活動されている黒崎さんが生涯学習課にいるのはとても心強く感じます。市民も協働しやすいかと思えます。黒崎さんの価値観に同感です。長年にわたって活動を続けてきた宮地さん、コロナ禍の中でも頑張っている姿に刺激を頂きました。私も頑張ります。マスクが無い中での手作りマスクの提供、学校、地域にとって心強かったですね。宮田さんたちに感謝です。つながりのために情報提供や多くの人を巻き込んでいくことが大切です。同感です。村山君の元気な姿が見られてうれしかったです。皆さん、それぞれの立場で頑張っていますね。相変わらず活躍されている御地合さんの姿、うれしいですね。スタッフ集めや体験学習の準備、下校時刻の対応の苦勞、大変でしたね。頑張っている姿に感動です。食べ物作りや体験学習の機会、私の活動も復活したいです。小栗さんもJ C時代から相変わらず元気に活躍されていてうれしいです。日光市にとってうれしい財産です。きっと大人になっても日光を好きでいてくれる子どもがたくさんいるかと思えます。親学習プログラムでもお世話になりましたが、宮子さんの長年の活動うれしいです。自分も頑張らなくてはこの刺激を受けます。学校現場に戻って頑張っている高山君の姿、うれしいです。やっぱりマスクは赤ですね。語りかけるホームページいいですね。私もやってみます。やっていくことは同じ、変える必要は無いのかな、やれる方向で考える、同感です。

・つながりを求めている方たちもいるので、新し

い生活様式に合わせた活動内容を検討し、地域とつながれる活動を実施できるように工夫していきたい。

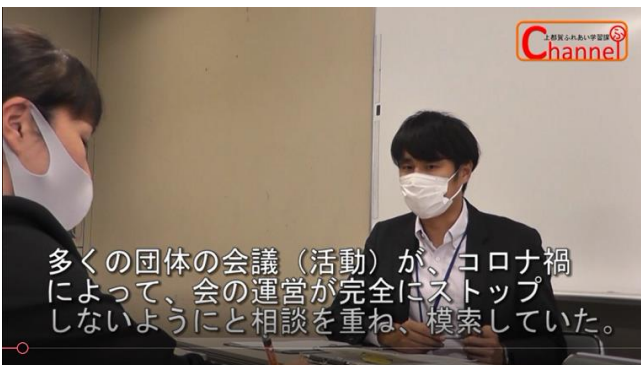


・様々な立場で、歩みを止めずに社会教育の現場で模索する方々の姿を見て勇気ができました。多くの方が、コロナウイルス感染症の為にできなくて中止にするのではなく、今はどんなことができるか？を考えて行事や実践を再構築していることがよく分かりました。また、何かを実行・実現する為には思いを『声に出す』ことは大切であることも改めて大切であると感じました。声を出すことによって、誰かが助けてくれたり、繋げてくれたりすることも感じました。コロナ禍においても、柔軟に考えれば、密をさけ、感染症対策をし、できることはたくさんあるとも感じました。また、推進者の皆さまの話を視聴して『無理をしないことも大切である』ことも感じました。

・コロナだからと言って、臆病になって縮こまっておらず、できることを考えて活動しているのが素晴らしいと思った。そのことが参加者や子ども

たちに喜ばれていたのがよかった。コロナ禍でも工夫して、たくましく活動している推進者の皆さんから勇気をもらいました。コロナ禍でも工夫して活動している推進者の皆さんはすごいなと思いました。

- ・自分ができることをやる。情報の収集をしていきたい。
- ・職場の仲間と知恵を出し合いながら工夫して子供達の笑顔や学びをつくっていけるよう率先して声を上げていきたいと考えました。
- ・ただ単に中止と考えるのではなく、なんとか工夫して実施しようという気持ち(実際に工夫して実施している活動もあった)を感じました。ここが大切だと思いました。参加者から前向きな気持ちを強く感じました。「つながる」方法を共有し、「つながる」行動に結びつけることが大切だと思いました。
- ・これまでと同様、保護者や地域の方の声に耳を傾けながら、学校現場としてしなければならないことやできることを、適宜していきたいと考えた。



- ・「今まで行われてきた活動を、継続していくこと」このことが大きな課題になっていると思います。しかし、今だからこそできることは何かというポジティブさをインタビューから感じました。自分ができることは、簡単に削減縮小するのではなく、どうしたらできるのかをしっかりと考えていきたいと思いました。キーワードは「つなぐ」だと

思いました。人と人とをつなぐ。気持ちと気持ちをつなぐ。活動と活動をつなぐ。学校と地域をつなぐ。今後もつなぐ活動をしていきたいと考えました。学校の様子を保護者や地域の方に知っていただくために、HP を使ってきていますが、子供たちとつながる手段としての可能性も感じました。緊急事態宣言が出たあの時期には、子供のためにメッセージを発信していました。それを継続していくことで、新たな HP の可能性が生まれるのではないかと考えました。

- ・できる事は限られているかもしれませんが、だからこそ工夫したり発想を転換したりしてできる事を創造していけるといいと感じた。団体の自立というキーワードが出ていて、よいと感じた。自立した団体と学校が、コロナ禍を乗り越えて、今まで以上に Win-Win の関係でつながれるとよいと感じた。複数校の児童を受け入れているので、開始時間が定まらない学童保育の話は学校側の立場からではなかなか気づけない視点だった。今後は学校側の情報共有なども更に必要と感じた。
- ・今までのやり方にこだわらずに、柔軟な考え方で新たな方法を生み出していくことが大切だと思いました。子どもファーストで！「できる」「できない」ではなく、どうすればできるのかを考えることが大切だと思います。こんな時だからこそ、人と人が繋がれる方法を考えていきたいです。子どもたちはたくさんの地域の人に支えられているのだということを改めて実感しました。子どもたちと毎日接している私たちがそれをしっかり伝えていかなければならないと思います。また、コロナ禍に限らず、常に学校は積極的に地域に情報を発信していくことも大切だと思います。

- ・様々な立場の人が、今できることをそれぞれに頑張っていると感じた。自分も子ども達や家庭、地域とつながって教育にあたりたいと思う。そのために頭をやわらかくして、今できることをより

良い形で実現できるよう頑張りたい。

- ・臨機応変に、できることは何かを考え、いろいろなアイデアを出し合い、実施することが大切だ。地域とのつながりをなくしてしまうことは様々な面でマイナスになってしまうので、やれることはやるのが大切だ。
- ・子供たちの豊かな成長は、学校・地域の共通した願いであることを確認し、このような状況だから

○公民館・コミュニティーセンター職員

- ・コロナ禍対策として検温、消毒液設置をして事業を行う。受付名簿作成、部屋の換気に留意する。無理をせず、可能な範囲で事業を行う。工夫して活動を考慮する。3密回避による人数制限、間隔をあける。参加者消毒の配慮、自力不可能なことは、笑顔で頼む。閉ざされず、団体との繋がりを維持するための工夫。オンライン、文字を介してなど。活動中止でも活動にちなんだ新しい活動を考える。自宅でするものにかえるなど。活動は止まらず、縮小や別室間隔をあけるなどの対策が今後も必要と考える。活動者と line やホームページで繋がる。職員紹介や各職員どんな活動かを載せる。クイズを出すなど。活動を変容させていくと最後には何もなくなってしまう。そこで、「できない。」⇒「だけどうやっていこう。」と、実現する方向で事業を行う。コロナ禍の終息はなく、ワクチン接種でやっと収束するのではないかと考えられる。ウイズコロナの中で私たちが上手に対応し、事業を展開していく必要が求められている。

- ・講座・イベントの中止に伴い新しい問題（お母さんが外に出られないためにストレスを抱えて

○社会教育指導員

- ・地域活動を真剣に捉え考えている方々が多くいることは心強いことと思いました。その活動では「ふれあい」が大切なことですが、コロナ禍で一

らこそ「一人ではできないことでも、協働することによってできる」ということを実感できる教育活動を実施したい。今年度から本校で実施している「上南摩ラボラトリー」や「UMA伝説」等に、保護者・地域の方々に、より参画していただけるよう進めていきます。

- ・組織の使命を見失うことなく、状況に対応していくことの大切さ。

しまう等) があることが分かった。ひとつが止まってしまうとまた別の何かに影響が出る。そんなことにも気付けるように視野を広く持って活動したい。不要不急で括られてしまう社会教育活動。すべて中止ではなくできる範囲で、行えるような対策を講じて行えるような動きができればよかった。次世代に自信をもって渡すことのできる地域にしたい。

- ・コロナ禍だからこそできる、1人1人と向き合う地域づくりに取り組みたい。



番大切な部分がダメージを受けていると思います。ただ、このようなことを十分考えながらも打開策は見つかっていくと思いました。このように

地域、学校のことを考えている方々の思いを感じて協力していきたいと思いました。Aグループと同様、それぞれの人の思いが伝わりました。地域の学校として大切にしてもらえることはありがたいことだと思います。子供たちを地域に出すことも双方向を考えると大切なことだが、何かの時の責任の所在をはっきりさせていくことはこれから重要なのではないのでしょうか。今後、地域社会との関係が深まっていけば行くほど重要項目になってくるのではないのでしょうか。また、学童保育の問題は意外と社会的にわかっていない部分のような気がします。学校を休みにしてももっ

○地域コーディネーター・学校支援ボランティア

- ・当面は、規模縮小やチラシ配布等で対応し、状況を監視しながら通常活動に戻して行きたい。



- ・既定概念にとらわれず、様々なこと（方法）にチャレンジすることが新生活様式をより良いものにしていけると感じた。コロナ感染から人権問題に波及し、そのための教育まで必要になっているという事に驚いた。恐れずに様々な視点からチャレンジして変革をもたらすことを念頭におきたい。子供たちとの向き合い方は、大人がしっかりとあるべき姿を自信をもって見せてあげられれば、子供たちにはしっかりと伝わる。しっかり手を差し伸べて寄り添って進んでいく事が大切である。
- ・活動の仲間との意見交換が必要。老若男女、人権教育の大切さ。つながりを大切にしたい。
- ・皆さん、コロナ禍でできることにチャレンジしていたのですね!きっとまだまだコロナは終息せ

と過密な場所になっていることや保育員の方々の仕事も過密になっていることを発信していく必要があると思いました。

- ・活動が上手くいかないときに、目指すところへの道が途切れたときに、どう考えどう動き出すか。アイデアを出すのは難しい。でも強い思いと継続してきたことから。子どもを思い、学校を思い、地域を思い行動する方が増えていること。その素晴らしい活動に感激。自分に何ができるか。

ずだと思われるので、更なる小さなチャレンジは取り組み続けたいと思います。そして、各々のチャレンジが少しずつ繋がったらまた新たなものが生まれるはず!!オンラインを含む新しい試みを進めながらも、やはり欠くことのできない人との直接的な関わり。この部分をどう満足できる形で活動にチャレンジするか。学校によっては、地域のボランティアを今までと差程変わらずに活動導入しているところもあり、一方で全く取り入れることのできなかつた学校もある。その違いは何なのだろう。

- ・予防対策など工夫して、活動が実施できるように、前向きに考えることが大切だと感じました。また、コロナ禍だからこそ、楽しむ気持ちを忘れず、子どもたちの笑顔のため、心の繋がりを保つために、今後も活動を続けて行きたいと思いました。挑戦(動画配信、ラインの活用など)諦めない気持ちが大切だと感じました。黒崎さんの『市民活動』『趣味』があるから、豊かな人生を送れる。価値の高いもの。というお話や、宮地さんの『何でも笑顔で頼む』気軽に行動すること、宮田さんの『繋がりを作っていく』村山先生の『心と心の繋がり』にはとても共感しました。4名のお話から、自分の活動に対して自信を持つことができました。御地合さんのお話から、学校休校時の学童

の様子を知ることができました。子どもたちの居場所として大切な活動だと改めて気づきました。小栗さんの『この地域』で起業したい!!その子どもたちの思いを大切にしたい。愛される地域づく

○大学生

- ・4名の方のインタビューを聞き、前向きに考え行動することの大切さに気づくことができました。私は、4月から社会人になりますが、何事に対してもコロナ禍だからできないと諦めるのではなく、今できることは何か、前向きに考え行動できるよう努めていきたいと思います。コロナ禍での差別や誹謗中傷を減らしていくために、私自身がそのようなことをしないのはもちろんですが、周囲でそのようなことがあった場合も、相手の気持ちが考えられるよう、声かけをしていきたいと思いました。周囲とつながることが難しい時代ではあるけれど、何らかの形で周囲とつながることが大切だと感じました。こんなときだからこそ、今まで以上に声を掛け合い、周囲と助け合うことができるよう努めていきたいと思いました。
- ・まだまだ今後が予測不能な中で、柔軟に考えたりポジティブな捉え方をして発想力豊かに物事を考えたりしていきたいと思いました。～はできないが、その分～はできるといったポジティブな

○放課後活動指導者・NPO 法人関係者・家庭教育関係者・企業関係者

- ・実施に当たってコロナ対策をして、内容を変えて子どもが楽しめて良かったなと思いました。やはり、やれる範囲での見極めがリーダーとしては、大切だなと思いました。出来ることから、進むことの大切さを感じました。line での子育て相談に切り替えたことは、素晴らしいと思いました。また、学校の HP で情報発信して、地域と学校がつながっていることは、とても大切でいいなと思いました。
- ・試行錯誤しながらも活動を工夫しながら、止まらずに進めることが大切。コロナ禍でも深刻にな

りが持続可能な地域に繋がっていくことに気づきました。斎藤さんの、ラインでの相談業務や、高山先生の『甘え上手』が『つながり上手』など、とても参考になりました。

考え方など工夫をしながら前向きに取り組んでいきたいと考えます。ひとりひとりが感染防止対策を徹底して少しずつでも前に進んでいけば良いのではないかと思います。キーワードとして「完全にストップしないように」ということが挙げられるのではないかと思います。コロナ禍だからこそ、新しい方法を模索してそこから得られた新しい発見を活かしながら取り組んでいくべきだと考えます。子どもたちだけでなく大人たちへも人権教育の推進を行っていく必要もあると思いました。コロナ禍での記憶を残しながらも前に進んでいかなければいけないと改めて考えさせられました。つながり作りが大切だと思いました。コロナ禍で人との距離は制限されていますが、心の距離はいつでも近くに居られるようにしたいと思いました。学校が休校のときの自宅での過ごし方がまだ影響を及ぼしていないとも限らないと思うので、家庭教育支援の充実についても視野に入れながら考えていきたいと思います。

らずに、対策をしながら楽しく活動をする。地域で活動をされている方は様々な活動に携っている。いろいろな経験が相乗効果となり、活動に生かされる。



3 地域学校協働活動推進者の方のインタビューを見て、考えたこと

- ・感染対策を徹底したり、通常の形を変えて工夫したりしながら活動を継続している姿に感動を覚えました。私たちも頑張ろう！と勇気を頂きました。今後の活動の励みになります。ありがとうございました。この動画を観て、人と人とのつながりが絶えない事、ネットワーク作りの大切さを改めて感じました。私達も情報を発信し、仲間を募りながらどんな状況下の中でも柔軟に対応できる力をつけていきたいと思いました。それぞれの立場で地域を愛する様子がよく伝わって参りました。私たちも地域の一員として、益々学校や企業と連携を持ちながら、子ども達に何ができる

○その他（県・市等生涯学習、社会教育担当職員）

- ・できないからやらないのではなく、どう工夫したら何ができるのかを考えていくことが大切だと改めて感じました。いろいろな立場や状況があることを俯瞰的にとらえながら、自分がやるべきことを進めていくことが大切だと思いました。ベストでなくても「子どもにとって」何がベターなのかという感覚を大事に、できることから始めることが大切であると感じました。



- ・お互いがお互いのために、コロナ対策をしっかりしていけば、協働活動もふれあい学習もできる。色々なことに配慮しなければならないが、前を向いて何かできることはないかと探すことで少しずつ進んでいけると感じた。間接的ではあってもふれあう機会は持ち続けることができる。見えな部分でつながることも増えてくるかと思うので、感謝する気持ちをこれまでよりもっと大切にしたい。コロナ禍でもこんなにも前向きに活動を

か考えていきたいと思いました。

- ・感染症対策などをしっかりやれば、活動の再開もできると思う。ボランティアの活動は、多勢で行うというより、多勢で考え少数で対応するためのスキルを身につけて関わっていく事が要求されていると思いました。人と人とのつながりの必要性や多様性を考えることができ、「だけどころしていこう」は良い言葉だと思いました。
- ・置かれている状況で、できることをやっていくことが大切だと思いました。

している方がいるのだから、自分も前向きに行動していかなければならないと感じた。私もつながり上手になりたいです。

- ・4名の方のお話を聞いて、それぞれの立場で様々な思いを抱えながら奮闘されていることを改めて知ることができた。

- ・自分自身の活動とも共通して言えることは、誰もとりこぼさず、一人ひとりを大切にしながら今できることを試行錯誤しながら取り組んでいくことが重要なのだと思った。その際に根本的な人権教育の在り方を見直し、自分自身も言葉1つに気を付けながら発信していくことが大切だと感じた。また、宮地さんの仰っていた「自分だけでなんとかしようと思わない」ということは、とても大切なキーワードだと思った。組織においても、地域・児童生徒・保護者の方々においても、コロナ禍において追い詰められてしまうことのないよう、共助の精神で様々なことに取り組んでいけるような投げかけをしていきたいと思う。安全・安心して直接体験できることを精選しながら、直接体験できない部分においては心と心がつながり続けられるようなシステムづくりが必要だと思った。

- ・コロナ禍において、「できない」のではなく、何ができるか、どうしたらできるかを考えていくことが大切だと改めて感じました。また、インタビューをとおして、ふれあい、つながりを求めている人はいる（ニーズがある）ことを実感できたことも良かったです。今だからこそできること、必要なことを考えて、周りを巻き込みながら、取り組んでいけたらと思いました。
- ・感染症対策を講じつつ、直接会ったり、同じ時間・空間を共有したりできるように活動内容を考えていきたい。
- ・「やりたい」「やってほしい」を形にするために、皆さんがアイデアを出し、前向きに取り組まれていたことはとても素晴らしいですね。元気になりました。「何のために」取り組むのかを忘れないことが、一番大切だと感じました。
- ・「コロナだからできない」と決めつけることなく、「できることをやろう」という意識で活動していることがわかった。行政職員として仕事をしていると、どうしても国などの方針にとらわれてしまいがちなのですが、この動画を見て、現場で活動している方の「活動したい」という気持ちもふまえて業務を進めていきたいと思った。
- ・事業を検討する上で、「今までどおり」ではなく、新しい生活様式に沿った新しい視点が大切になると感じました。失敗してもいいから、「まずはやってみよう」という前向きな気持ちが大切だと思いました。手段が変わっても、“つながりづくり”の目的を見失わないように、気をつけたいと思いました。
- ・コロナ禍においても子どもを核とした地域づくりを工夫して取り組んでいる方たちの話を聞くことができ、自分もがんばりたい、まだまだやれることがあるのではと前向きに考えて取り組みようと思いました。
- ・コロナ禍でも、感染防止対策を徹底した上で、可能な限り何かを実践しなくてはならないと強く感じました。様々な立場の方がそれぞれ前向きに取り組んでいて元気を貰えました。刺激を受け、頑張ろうと思いました。登場された皆さん、立派な方ばかりで、刺激になりました。
- ・コロナ禍ではあるが、工夫をしながらいろいろな方がつながる場を創出することが必要。とりあえずできることをやってみる。この勇氣ある一歩が、よりよい地域をつくっていくのだと感じました。
- ・コロナ禍においても、人とのふれあいや地域活動を求めている人、必要に感じている人はたくさんいる。出来るか出来ないかで足踏みをするのではなく、思いを口にする事で仲間を増やし、様々な可能性を見つけながら、前向きに取り組んでいきたい。地域には人とのつながりを求めている方々がたくさんいる。行政の立場として、そういった方々に、どのようにその場を提供していくかを考えていくことが大切であると感じた。家で過ごす時間が過ぎている今だからこそ、家庭教育支援も重要になってくる。ICT機器を活用するなどしながら、家庭とつながる、家庭を支援する取組も継続していきたい。また、地域の大人だけでなく、子どもたちの支援にも目を向けていきたいと思った。
- ・動画の編集もわかりやすく、大変参考になりました。みなさん、それぞれの立場で何ができるのかを考え、工夫しているのだと思いました。コロナ禍で人と会えない、集まらない中だからこそ、地域活動の大切さや人とのつながりの大切さを信じてがんばるみなさんは素敵だと思いました。誰も経験したことがない状況の中、みなさんが前向きにできることを探し、実践している様子が伝わり、自分もがんばろうと思いました。

- ・以前と比較するのではなく、現在の状況下でできることに自信をもって取り組むことが大切だと思いました。ふれあい学習の取組に価値がある、意義があると自覚することが重要だと思いました。様々な制限の中だからこそ、大切にしたい思いや活動、また、それぞれの主体の強みに気付くことができたのではないかと感じました。
- ・やりたいことを声に出すということは、具現化の可能性を高めることだということを再確認しました。アイデアを出し合える人間関係づくりに努めたいと思いました。市民活動や趣味は人生を豊かにするということを念頭に置けば、ニーズに応じた活動の支援につながりやすいのではないかと考えました。学校職員による取組で、子どもたちとの関係が途切れないようにするための工夫をこらしたホームページ更新ということが印象的でした。何事も一方通行では気持ちが伝わらないということを再確認しました。
- ・コロナ禍において、より一層ふれあい学習の必要性を痛感しているように感じられました。大変勉強になりました。高い情報活用能力を生かした取組に脱帽です。参考とさせていただきます。
- ・前向きであることが皆さんの共通項だと感じました。止まるのではなく、できることをできる範囲で進めることが、次への準備になりモチベーションにもなるということを感じました。私自身も今できることを積み重ねていきたいと思います。
- ・ただ「やらない」「中止」ではなく、工夫してで

きることをするという意識が大切だと感じました。

- ・「そのままにしない」が「だからこうする」に結びつけられるアイデアや技術を（自分も含め）求めたい。「甘え上手」は言い得て妙ですね。関われば変化はある→どう関わるか、甘え上手に関わりたいです。
- ・「今後の活動をどう考えたか？」感染防止に注意しながら目的を達成させるための最善策を考え実行する。
- ・それぞれの立場の人が、それぞれの立場で工夫しながら活動されているのがわかりました。インタビューを受けた方みんなに感じるのは、前向きだということです。今は制限が強い世の中ですが、前を向いていれば何か見つかるのではないかとやる気をいただきました。時代により不要不急にカテゴリーされがちな地域学校協働活動をそこに価値があると感じてくださっている方がこんなにもいることが嬉しく思いました。子どもたちを思う大人の、強い思いを感じました。自分の地元にもこの動画に出演されていた方たちのような大人がいると思うので、探して繋がりたいと感じました。



4 研修に参加した感想

○教職員

- ・コロナ禍でも活躍する皆さんの姿、刺激を受けました。自分もいくつかの団体で個人的に活動しているので頑張りたいと思います。そしてつながりはやっぱり大切ですね。
- ・コロナ禍におけるそれぞれの立場の意見を聞くことができ、工夫しながらつなごうとしていることを知ることができて良かったです。直接会うことができなくてもつながり続けることを大切にしていきたいと思いました。

- ・新型コロナの影響から人々の自由な移動や交流が制限されたことにより、社会教育における「出会いやつながり」の重要性を再確認しました。今後は、対面だけでなくオンラインでの出会いが加速していくことが見込まれるこれからの社会において、新たなコミュニケーション方法を模索し、つながりを強化していくことが、地域と学校においてより重要となっていくと強く感じています。今までの研修とは違った形でしたが、今回の研修はとてもよい学びになりました。ありがとうございました。
- ・オンラインの研修はいろいろデメリットもあるが、それとともにメリットも十分に感じられた。じっくり話が聞けたし、もう一度聞きなおしたりもできた。また自分のペースで聞くことができた。企画もよく、新たな可能性が感じられた良い研修でした。ありがとうございました。
- ・情報発信を今後も継続してください。
- ・コロナ禍の中でどんな思いや工夫をして活動していたのか12人の方の熱い思いと共に伝わりました。緊急事態宣言中は私自身も夢中で1日1日を過ごしていました。しかしそこには一緒になって考える仲間がいました。より一層絆も深まったと思います。この研修に参加して今ここで立ち止まって自分達が何を工夫してきたのかを記録として残しておくことの大切さに気付かせていただきました。「キーワード」も参考になりました。これまでの自分達に自信をもつとともに今後も知恵を出し合いながらボランティアとも協働しながら本校児童、家庭、地域みんなが幸せになるように取り組んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。
- ・「なんとしても研修を行う」気持ちが伝わってきます。その気持ちが人を「つなげる」と思います。ありがとうございました。
- ・コロナ禍で様々な方が「心のつながり」を重要視し、それぞれの立場でできる「ふれあい学習」を、形を変えて実践していることが分かった。
- ・今回の研修に際して、多くの関係の方々のおかげでこのような映像が作られたことに感謝したいと思います。多くのことが中止されている状況の中でも、何かできるのではないかと、むしろ、このような状況だからこそ新しいことが生まれるのではないかと非常に前向きな考え方に、力をいただきました。コロナ禍という状況は一緒ですが、この状況をどうとらえ、どう行動を起こすかは一人一人の気持ちの持ち方で変わると思いました。私も感染防止に努めるとともに、前向きな気持ちを常に持ち続け、「つなぐ」活動を続けていきたいと思えます。今回は大変ありがとうございました。
- ・会場に足を運んでの研修ではありませんでしたが、いろいろな学びや気づきがあり、とてもよかったです。お世話になりました。みんなで少しずつ、がんばっていきましょう。
- ・研修ができない中でこのような新たな方法でつながりをもっていただきありがとうございました。大変な1年だったけれど、人との繋がりが不可欠だということを改めて実感した大切な1年だったのではないかと考えています。地域には人のために子どものためにこんなにもたくさんの団体、活動されている人たちがいるのだということたくさんの人に知ってもらいたいです。
- ・コロナに起因する生活の変化や困難を感じる度合いはそれぞれのように思うが、いろんな立場の人が自分の専門で今できることを模索している様子を知ることができてよかった。困難なことぶち当たったときには、そのような前向きな姿勢



や柔軟さが必要だと感じ、自分も頑張りたいと思った。

- ・コロナ禍では多くの方が今までの生活とは異なる生活をしなければならない。コロナ患者が発生

○公民館・コミュニティーセンター職員

- ・上都賀地域学校協働活動推進者の皆様方の貴重な体験やお考えを傾聴でき、とてもためになりました。今後の活動への参考や励みにしていきたいと思えます。
- ・今年度は、企画し、準備をしても、中止とする事業が多くありました。また、会議なども書面にて開催することも多くありました。これまでの活動を改めて考えさせられる1年でした。今回の動画の12名の方のお話を聞くなかで、常に周りの人を思い、現状でできることを考え、行動まで移されていることは本当にすごいことだと思いました。同時に、本研修で感じたことを意識して、コロナ禍で迎える2年目を過ごしていかなければいけないと思いました。今回は、このような研修の機会を設けていただき、ありがとうございました。
- ・自分のタイミングで研修を行うことができた。上都賀地域内に様々な活動をしている方がいることがわかった。当たり前のように話していることもこちらからはとても新鮮でためになる話だった。
- ・編集がしっかりされていて、わかりやすかったです。

○社会教育指導員

- ・地域活動の充実のため多くの方々のいろいろな思いがあるということがわかった反面、それに対する感謝が足りないのではと思ったり、それも人と人とのコミュニケーションから生まれるものかもと思ったり…。自分ができることを少しずつ増やしていきたいと思えます。

したときには各種団体はもちろん地域との連携も必須である。何かあってからではなく日頃から各種団体や地域の方々と連携しておくことが大切であると実感した。

- ・コロナ禍でもこのような機会を提供していただき、ありがとうございました。



- ・この状況の中で、様々なお立場の方々がどのような思いで、どのように取り組まれてこられたのかを知ることができました。先が見えにくい状況だからこそ、他者との目的や思いの共有、一緒にできることの確認ができる日頃からの関係づくりが大切であることを再確認できました。参加者の皆さんと直接お会いできない今、今回の研修内容は適切であり学びの多い研修でした。事務局の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

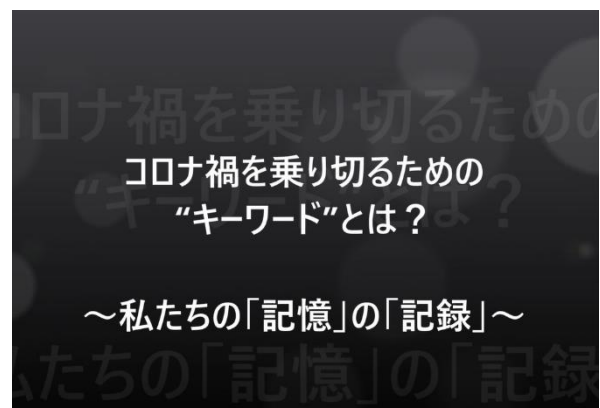
○地域コーディネーター・学校支援ボランティア

- ・みなさんの工夫に感心しました。これらを参考に今後の活動に役立てたいと思います。
- ・環境の変化に対応する能力の必要性を改めて実感しました。
- ・様々な業種の方々の普段聞けない話を伺う事ができて大変貴重なものだった。対面、オンライン、色々な方法があるが、情報の交換は困難な局面も打開できるものであると再確認した。
- ・様々な事例を聞いて良かったです!!ストップしたことで気付いたことや大切さを感じたこと。ある意味コロナ禍から貴重な機会をいただけたのかもしれない。地域でこれだけの方が、もがきながらも前を向いて自分にできることを探し、挑戦しています。怖さもあるけれど、やってみると意外にいつもと変わらない。やってみるという選択をとれるように、環境やレベルを調整してみる、心を調整する。普段の研修では、こんなに沢山の方の詳しい話しはじっくり聞けないので、本当に貴重な記録を見せていただきました!そして、考える機会をありがとうございました!
- ・様々な立場の方の発表をお聴きして、まず、自分がこのコロナ禍で、この一年、何をしてきたのだろうか?と自問自答しました。計画を立てても、なかなか協力者を得られず悩んだり、自画自賛なのではと思ったりすることばかりでした。できないことが多い一年でした。しかし、発表者の方々は創意工夫し、何とかしてやっていくという心構えが強く感じられました。そして、現実はこの現況の中でも、立派に活動していらっしゃいました。活動の内容は、人それぞれかと思いますが、学校と地域を繋ぐ、人のためにできることをしたいという思いは、同じであるはずです。あらためて、勉強させていただきました。何度も見返し、自分に足りないものを見つけさせていただきました。今からではありますが、自分にできることを少しずつ進めていこうと思います。貴重な研修をさせていただき、ありがとうございました。
- ・12名のインタビューから、「繋がりを大切にしたい」「前向きに考えてやってみる」このような印象を受けました。活動を続けるために、子どもたちの笑顔のために、歩みを止めず、ふれあい学習の推進に努めていきたいと思いました。コロナ禍だからこそ、人と人との関わりが重要だと改めて感じました。このような研修を企画していただき、本当に感謝です。自分の活動の参考になりました。ありがとうございました。

○大学生

- ・私は学生ですが、今年は様々な行事が中止され、その度「コロナ禍だから仕方ない」と諦めていました。しかし、今回の研修を受けて、様々な方たちがコロナ禍でもできることを模索し、活動をしていたことを知り、就職をしたら「仕方ないと諦めるばかりではなく、今できることを考えていかなければならないのだ」と気づくことができました。また、こんな時代だからこそ、人とつながることが大切なのだと改めて感じる事ができました。今回の研修で感じたことを忘れず、4月か

ら仕事に励みたいと思います。



- ・徐々にコロナウイルスの感染が収まってきつつありますが、コロナ禍での記憶はやはり残していくべきだと改めて思いました。様々な角度から関わっている方々の貴重なお話が聞けて視野が広がった気がしました。学校では人権教育の推進や、家庭教育支援の充実、デジタル格差などがキーワードとしてこれからも挙がってくるのではと思いました。自分自身のキーワードとし

て挙げた「人と人との距離は離れていても、心は密に」を大切にしながら日々の生活や様々な活動に取り組んでいきたいと感じました。今後もまだ予測不能な事態が起こらないとも限らないので、そうなった場合に柔軟でポジティブな捉え方と発想力で動いていきたいと考えました。

○放課後活動指導者・NPO 法人関係者・家庭教育関係者・企業関係者

- ・皆さま、とても前向きで色々なアイデアでやっ
ていこうという姿勢にとっても感動しました。私も、子ども達と一緒に早く活動したいと思いました。この素晴らしい研修をありがとうございました。
- ・貴重な体験をさせていただきました。丁寧にまとめていただき、ありがとうございました。
- ・とてもわかり易く見やすい研修でした。沢山の方のお話しが聴けて良かったです。活動されている内容は様々でしたが、目的が共通していたのが印象的でした。皆、子ども達を愛し、地域を愛する方達だと心が温かくなりました。インタビュー

された先生方たいへんお疲れ様でした。良い企画をありがとうございました。

- ・「活動の中止」という、考えてもみなかった事に遭遇し、本来の活動意義自体が薄れてきているところですが、皆さんの声を聴いて、もう一度「つながっていく」「出来ることを探してみよう」という思いに至りました。自粛中に自分たちのスキルアップをして、いつでも活動再開できるようにしていきたいと思います。

○その他（県・市等生涯学習、社会教育担当職員）

- ・それぞれのお立場でそれぞれの苦悩と困難の中で、ポジティブに考え、実践しておられる方々のお話を伺えてとても心強く感じました。それは、本研修への取組も同様だと思います。ありがとうございました。
- ・上都賀にいらっしゃる多くの方々のお話しを聞くことができ、とても、満足です。
- ・気持ちが前向きになれる、とても素晴らしい内容でした。ますます、やる気が出ました!!そして、とっても心がほっこりしました。また、廣瀬先生のお話は、いつも刺激的で大好きです。たくさんのお話をいただきました。ありがとうございました。

- ・動画配信でいつでもどこでも参加できる研修会を企画してくださりありがとうございます。なかなか聞くことのできない、上都賀地区の活動者の方々の声を聞くことができ、とても貴重な体験をしたような気になれています。こんなご時世だからこそ、つながることがとても重要だと感じました。

- ・コロナ禍におけるふれあい学習ネットワークの皆さんの思いや活動を知ることができ、今後自分が活動していく上で大変参考となりました。コロナ禍を乗り越えるためのキーワードの動画も皆さんの思いに触れてとても感動しました。「何もできない」のではなく、「今だからこそできること」に対してポジティブにかじ取りをし、地域や児童・生徒のためにできることを日々研鑽に努め

たいと改めて思いました。このような機会を設けてくださった皆さんに感謝するとともに、今後の活動に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

- ・ コロナ禍だからこそすべきこと、やるとよいことなど、前向きになれるヒントをたくさんいただきました。ありがとうございました。自分の立場でできることを考えていきたいと思えます。
- ・ 研修の機会をいただきありがとうございました。ふれあい学習課の先生方の行動力と尽きないアイデアはとても勉強になります。それぞれの立場の方々が、コロナ禍に嘆くことなく前向きにできることを粛々と進めている様子が印象に残りました。今まで進めてきたことを無かったことにするのは簡単ですが、コロナというピンチを機会と捉え、今まで思い至らなかったような工夫やアイデアを出し、怖がらずリニューアルしていくことが自分には必要だと感じました。まさに今、地域の力が大切な時。自分の置かれている立場を考え、できることに挑戦し、地域づくりの一助になればと思えました。
- ・ ここまでの研修をゼロから形にするには、大変なご努力があったことと思えます。チャレンジ精神があればこそですね。今、自分の中で沸き起こっている思いを、同じ志をもつ人と共有できるといいなあと思えます。ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。
- ・ 今年度は外部の方と関わる機会が少なかったため、当研修で普段の業務では関わらない方の考えを知ることができました。とても貴重でした。
- ・ 今年度は、情報交換の機会に恵まれなかったので、とても良い情報収集の機会となりました。今後の事業に役立てていきたいです。
- ・ いろいろな立場の方のお話が聞けて、とても参考になりました。コロナ禍においても、前向きな気持ちをもつことの大切さに、改めて気付かされました。
- ・ 困難な状況において、できること、やれることまだまだ可能性はあるのだと感じました。学びやつながりづくりが新しい生活様式の中でも続けていけるように、広い視野で柔軟に取り組んでいきたいと思えます。様々な人たちの話を聞く機会を提供していただき本当にありがとうございました。
- ・ オンラインでの取組は参考になりました。また、この状況を経験したからこそ、人とのつながりや学びの大切さを再認識しました。廣瀬先生の動画も含め、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 面白くて、ついつい全部拝見してしまいました。上都賀地区は人材の宝庫ですね。素敵な人たちがたくさんいて、温かい地域だと思えました。自分の住んでいる地域にも素敵な大人はたくさんいるはず、そういった人たちとつながることが大切だと思えました。
- ・ 地区内の推進者の皆様のお話をうかがい、元気をいただきました。これほどのすばらしい方々が近くにいることはこの地区の財産だと思えました。話をうかがうことで、コロナ禍ではありますが、これまでやってきたことの歩みを止めないことがとても大切であると感じました。
- ・ B グループの黒崎さんお話の中に「不要不急」についての話題がありました。世の中では、「感染防止と経済活動の両立」が叫ばれ、学校では「学びの保障」が叫ばれています。黒崎さんがおっしゃるとおり「市民活動」は不要不急なものではないと、他の方のお話も含め感じました。経済は生活を豊かにしてくれますが、人生は豊かにはしてくれません。今回インタビューなどに出演された方々は豊かな人生を送られていると感じました。子どもたちもこのような大人の方々に触れるこ

とで心が豊かになり、将来的に人生が豊かになるのだらうなと思いました。子どもも学びが保障されてもそれを将来的にどのように生かせるのかを感じる事ができなければ主体的な学びにはつながらないと思います。今回のこの映像を拝見し、いつもとは違った角度で考えることができました。

- ・コロナ禍において、なかなか思いや取組を共有できる場がなかったため、今回の研修で様々な立場の方のお話を伺えたことは、大変ありがたく思いました。また、多くの方が工夫しながら地域活動に取り組まれていることを知り、励みになりました。次年度以降も、コロナ対策は必要になってくると思うので、今回のお話を参考にさせていただきながら、そして、自分なりのキーワードを胸に刻みながら、自分にできることを考えていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・厳しい状況下、ふれあい学習の取組の推進を図ってくださっている方々への敬意を表します。さらに、何よりその声をこうして届け、紡いでくださった上都賀教育事務所の皆様の企画と御尽力に感動しました。世の中には「できない理由」や「やれというならその環境等の整備を求める」声が目立つ中、教育事務所の果たすべき役割を提示していただいたものと強く思いました。ありがとうございました。
- ・今回の動画視聴によって、改めて人と人のつながりの大切さを感じました。今後、つながりづくりの支援をするに当たっては、社会のニーズを把握することが前提であり、そのためには、新聞やホームページ、その他の資料を読むことも必要ですが、何よりも、自分が人とつながることによってそのニーズを感じる必要があると思えました。上都賀地区地域学校協働活動を推進され

ているみなさんのお話も大変参考になりましたが、上都賀教育事務所ふれあい学習課のみなさんの活動も大変参考になりました。

- ・オンライン研修の一つの形を体験できました。さすが上都賀と思いました。
- ・素晴らしい機会をいただきありがとうございます。その都度のアンケート（コメント入力）で、何となく双方向になっている気がします。工夫されているな、と勉強になりました。オンラインでの研修開催で諸準備等ご苦労があったかと思いますが、皆さんの思いは伝わったと確信しています。ありがとうございました。
- ・それぞれの持ち場で、やれること、できることから進んでいこうという勇気をもらいました。
- ・今回の研修は、コロナウイルス禍のために変更を余儀なくされたとは思いますが、結果的に、新しい方法が見つかったことにもなる。課題が立ちほだかったとき、やはりそこに光りを見だし、次のステップを踏んでいくことが、とても大切である。
- ・とても見応えのある動画で、勉強になりました。行政の人間としては、動画を作る側としても魅力（効果）を感じますし、見る側の人も、自分の地域ではこんな活動をしている人がいると感じる人も多いのではないかと感じました。市庁舎のエントランスで、学校の給食の時間に、病院の待合室で、いろんなところで放送することで、上都賀地区の魅力を再発見する人がいるのではないかと感じました。大変勉強になる時間を作ってくださいありがとうございました。

■Special Thanks■

*今回の研修会に当たり、インタビューに御協力いただいた方々に改めて感謝いたします。順不同でお名前のみ御紹介いたします。(順不同)

| | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 荒井 訓子 様 | 小栗 卓 様 | 今成 綾 様 | 畠山 由美 様 |
| 生井 泉 様 | 御地合 直美 様 | 五十嵐 至子 様 | 宮地 ゆみ 様 |
| 兼目 千恵子様 | 斎藤 宮子 様 | 宮田 里枝 様 | 大房 剛樹 様 |

*最後まで御覧いただきありがとうございました。皆様の御健康と御多幸をお祈りいたします。

